

音ログ AtomPP 仕様

DRAFT-20060202

2006.02.02

立藺理彦 (音ログ)

目次

概要	1
更新履歴	2
DRAFT-200600202 (2006.02.02)	2
用語説明	2
プロトコル仕様	2
AtomPP	2
認証仕様	2
キャラクタエンコーディング	3
音ログ投稿・検索用ボキャブラリ	3
エンドポイント	4
音ログ AtomPP リクエストおよびレスポンス	4
エラーレスポンス	5
User-Agent 属性によるクライアント情報の送信	6

概要

このドキュメントは、音ログ投稿のためのプロトコル仕様について解説します。

このプロトコルを使用する事で、iTunes 等のプレイヤーで演奏された楽曲の情報を音ログサーバに投稿する事が出来ます。

更新履歴

DRAFT-200600202 (2006.02.02)

- ・ 公開バージョン

用語説明

- ・ 音ログ

iTunes などの音楽プレイヤーで再生された楽曲の情報(アーティスト名・アルバム名・楽曲名)を、再生した日付と共に履歴として残したデータです。

蓄積されたデータは、日付毎に抽出して音楽日記として使用したり、特定のアーティストの楽曲がどれくらい聴かれているかを調べるために使用されます。

プロトコル仕様

AtomPP

音ログ AtomPP は、AtomPP をベースとしています。AtomPP は、ウェブサイトに記事を投稿したり編集するための、アプリケーション・プロトコルです。

AtomPP は現在ドラフト段階の仕様です。本ドキュメントは、2004年9月21日付けのドラフト2版をもとに書かれています。

AtomPP の詳細については、<http://www.ietf.org/html.charters/atompublisher.html> を参照して下さい。

認証仕様

音ログ AtomPP では、アイテムの新規作成や参照の際に、正当なユーザであることを確認するための認証を行います。認証の仕様としては、WSSE を使用します。

WSSE は、"Web Service Security UsernameToken Profile" を元に、HTTP ヘッダを拡張する認証仕様です。WSSE については

<http://www.xml.com/pub/a/2003/12/17/dive.html> などを参考にして下さい。

WSSE は下記のパラメータから構成されます。

- ・ Username

アカウント名

・ Nonce

ランダムに作成された文字列です。

例: SHA1 (Date() + Rand())

・ Created

ヘッダ作成時の日時です。

W3DTF (<http://www.w3.org/TR/NOTE-datetime>) 形式で表記します。

・ PasswordDigest

Base64 \ (SHA1 (Nonce + Created + Password))

実際のポストは下記のようになります

```
POST /atom/post HTTP/1.1
Host: @@SERVER_ADDRESS@@

Content-Type: application/atom+xml
Authorization: WSSE profile="UsernameToken"
X-WSSE: UsernameToken Username="otolog",
PasswordDigest="dK46zlk02a+zL/cYT4X5rLhUJs4=",
Nonce="YjdkMDJiYjY5Y2ZiNGMyMA==" ,
Created="2005-08-14T08:10:29Z"
```

キャラクタエンコーディング

音ログ AtomPPでは、キャラクタエンコーディングとして「UTF-8」を使用します。

音ログ投稿・検索用ボキャブラリ

アイテムの新規作成(履歴の投稿)や検索を行う際、楽曲情報を表現するために、下記のXML 拡張を使用します。

ネームスペース URI: <http://otolog.org/ns/music#>

- ・ artist
アーティスト名
- ・ album
アルバム名

- ・ track
トラック名
- ・ duration
秒単位の演奏時間
- ・ date
演奏開始日時(ISO8601)

エンドポイント

音ログ AtomPP では、アイテムの追加や編集といった操作のそれぞれに、対応するエンドポイント (URI) が存在します。

(注)この文書では、プロトコルの実装についてのみを解説しています。サーバのアドレスや、ルートポイントの実際の内容については、別途サーバ管理者から提供される情報に従って下さい。

ルートエンドポイントに **GET** リクエストを送る事で、サポートされるエンドポイント URI のリストを得る事が出来ます。クライアントアプリケーションは、まずこのリクエストで、各サービスのエンドポイント情報を取得する必要があります。

- ・ リクエスト

```
GET /atom/otolog
```

- ・ レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
Content-Type: application/x.atom+xml
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<feed xmlns="http://purl.org/atom/ns#">
<link type="application/x.atom+xml" rel="service.post"
href="http://SERVER_ADDRESS/atom/otolog/post" title="Playlist
Post">
</feed>
```

音ログ AtomPP リクエストおよびレスポンス

1. 音ログの新規作成

音ログのエントリを新規作成するには、下記の必要パラメータを付加して、**PostURI** に対して **POST** を行います。

- ・ リクエスト

```
POST /atom/otolog/post
```

```
<entry xmlns="http://purl.org/atom/ns#"
xmlns:otolog=" http://otolog.org/ns/music#">
  <otolog:artist>@@アーティスト名@@</otolog:artist>
  <otolog:album>@@アルバム名@@</otolog:album>
  <otolog:track>@@トラック名@@</otolog:track>
  <otolog:duration>@@トラックの演奏時間(秒単位)@@</
otolog:duration>
  <otolog:date>2005-0815T07:32:15Z</otolog:date>
</entry>
```

. レスポンス

201 Created

2. 音ログアイテムの参照
(このバージョンではサポートしません)
3. 音ログアイテムの編集
(このバージョンではサポートしません)
4. 音ログアイテムの削除
(このバージョンではサポートしません)

エラーレスポンス

ポストや編集に失敗した場合、下記のコードがサーバから送信されます。

- . 400 Bad Request
受信した XML に誤りがあります。
- . 401 Unauthorized
認証に失敗しています。
- . 403 Forbidden
閲覧が許可されていないリソースです。

- ・ 405 Method Not Allowed
許可されていない操作です。

User-Agent 属性によるクライアント情報の送信

音ログをサーバにポストする際は、下記の情報をヘッダに含めて下さい。

- ・ クライアント名
- ・ クライアントバージョン
- ・ プラットフォーム
- ・ 言語
- ・ クライアント開発者への連絡先(URL)
- ・ プレイヤー名
- ・ プレイヤーバージョン

例:

**User-Agent: OtologController/1.0 (Macintosh; ja-JP; <http://otolog.jp/>)
iTunes/6.0.1**